

絵手紙は
「ヘタでいい ヘタがいい」

今年も年賀状展開催!

今月号掲載の絵手紙年賀状約1000通を展示いたします。

【会期】令和4年12月6日(火)～令和5年1月9日(月祝)

【会場】郵政博物館 多目的スペース

及び旧ミュージアムショップスペース

詳細105頁

今年も年賀状特集号をお届けします!

巻頭 あなたの手がきを喜んでくれる人がいます

郷土玩具で福くばり

04 山田喜代春の詩画世界

06 登坂和雄の一語一絵(朱)

08 自分の道を歩く——相田みつをの言葉

10 公認講師の年賀状

今年も「ありがとう」の

気持ちを届けよう

24 手紙のヒント 中川越

26 柳宗悦の眼に学ぶ 白土慎太郎

28 essay アーサー・ビナード

30 2023年版卯年

みんなの絵手紙年賀状

60 絵手紙教室

筆と墨の年賀状

◎兼岩幸恵の小さくても一歩
絵について

◎小池邦夫の絵手紙教室

「墨を普段から使う人が日本にどれだけいる?」

古代の線の魅力

・古の古語を年賀状にのせて
拓をとってみよう!

◎濱田 薫の文房四宝塾

「筆墨硯紙のツボ②」

84 新商品 油煙墨・天下太平のご案内

みんなの絵手紙年賀状

〈北から南から〉

105 年賀状展のお知らせ 郵政博物館

108 絵手紙のチカラ脳活クイズ 結城俊也

〈日本絵手紙協会からのお知らせ〉

106 日本絵手紙協会主催〈絵手紙友の会〉
友の会で一生の友たちを見つけよう

109 講座のご案内

114 あなたの街の「絵手紙展」

116 投稿の募集要項/貸出教材

118 小池邦夫絵手紙美術館ニュース

120 栄村国際絵手紙タイムカプセル館だより

122 日本絵手紙協会・推薦教材

124 絵手紙ニュース/公認講師のお知らせ

絵手紙通信講座

125 日本絵手紙協会の地図/脳活クイズ〈解答〉

126 「絵手紙友の会」からのお知らせ/編集後記

127 『月刊絵手紙』定期購読のご案内

128 ご注文方法

次号予告

いわさきちひろの世界

*郷土玩具 〈表紙〉高松・宮内張子の袖うさぎ(土/香川県高松市)個人蔵
〈裏表紙〉鶴岡人形の布袋の車引き(土/山形県鶴岡市)日本玩具博物館蔵
*絵手紙 〈表紙〉絵手紙:森田啓子(東京)
〈裏表紙〉右:藤原典子(広島) 左:松下千恵子(兵庫) 兎の古代文字
*連載「ことばの旅」、「古拙微笑」、「木もれ日」は今月はお休みです。

今年も「ありがとう」の 気持ちをお届けしよう

〈講師の皆さま〉

順不同・敬称略

- 土田正子
- 乾 久美
- 山本由美子
- 岡田理恵
- 久保田陽子
- 真武香織
- 浦川千晶
- 左近恵子
- 渡邊智江
- 深津洋子
- 松本美恵
- 村上里美

会いたいな、元気かな——いつも気にかけて、心でつながっているあの人へ。感謝の思いを込めて、新年のごあいさつを送ってみませんか。

今年の公認講師の年賀状は、たくさんのかたに親しんでいただいている日本絵手紙協会の各種講座の担当講師より12名の皆さまの年賀状をご紹介します。身近な人へのあたたかいまなざしが詰まった年賀状をどうぞご覧ください。

* 土田正子 講師

元旦の日、ポストの音を心待ちにしています。束ねられたハガキを家族で仕分けしていく至福の時間です。そして雪の中、しっかり防寒着を着こんで近くの神社に初詣へ。日中は孫と雪遊び。雪を溶かし雪解け水で墨を磨って墨遊びも。



友へ。友の会全国大会が2023年こそ開催できますように。皆さんと会えますように。



友へ。今年も毎日絵手紙を続けましょう。目標10年!!

つちだ・まさこ

新潟県生まれ。新潟県在住。趣味は蕎麦巡りとゴルフ。會津八一、中川一政、松田正平、良寛などが好き。「良寛さんは地元なのでまだまだ学ぶことが沢山あります」
(土田)

*2021年度以降の「おうちで絵手紙入門講座」「おうちでステップアップ講座」講師、および2023年度「たのしい絵手紙通信講座」新講師の皆さまより12名のかたをご紹介します。
*「たのしい絵手紙通信講座」は、来春リニューアル予定です。(124頁)どうぞお楽しみに。そして卯年も一緒に楽しく学んでいきましょう。

筆と墨の年賀状

もろくて嬉しい…



小池邦夫(油煙墨「天下太平」を使用/小池邦夫の墨についての話は66頁をご覧ください)

手がき年賀状がすっかり少数派になってしまった昨今、筆と墨の年賀状ほど目をひく一枚はきっとないでしょう。手間がかかる分、気持ちもうんと伝わります。ぜひ今年も筆と墨で新年のごあいさつを試みませんか。



2つ年下の妹へ 繁森幸子(岡山)



双子の孫へ 山中幸枝(岡山)

絵手紙は

「へたでいい

へたがいい」

自分をありのまま出すというのは簡単なようで難しい。へたを平気で出せる人がいい。(中略)
 どんなに不器用でも、筆が紙にくい込んでいくといい。表現の世界では、不器用というのが武器になる。しかし鍛えた不器用でなくてはいけない。

—— 小池邦夫

2020年4月号「へたでいいへたがいい」小池邦夫の「絵手紙人のための11か条」より